

第4回健康生活デザインフォーラム

『ダイバーシティを捉えた地域コミュニティのコンテクスト転換』



第4回は、「ダイバーシティ」をテーマに、「ホームレス自立支援」や「障がい者雇用の推進」、「認知症の理解と受容」という社会課題に対する能動的な解決アプローチによって、地域コミュニティにどのようなコンテクスト転換をもたらしているのかを研究する。

【開催日時】 **2016年6月19日(日)**
13:00~16:50 (予定)

【開催場所】 一般社団法人ソーシャルユニバーシティ
東京都港区赤坂 8-5-26 赤坂DSビル4階

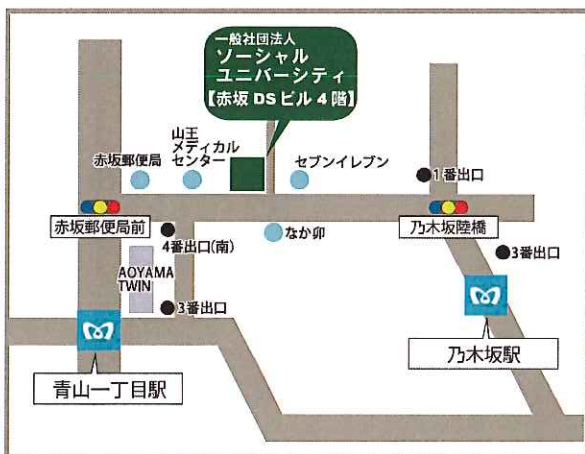
【募集定員】 100名

【参加費】 フォーラム参加費：1,000円 懇親会：3,000円

** 懇親会～やまなし・くずまきの地が育んだ大地の恵みとともに
ワインとチーズを愉しむ～*

【申込方法】 裏面の参加申込書をFAXされるか
同じ内容をメール送信してください
(一社)地域デザイン学会事務局
E-mail: info@zone-design.org
FAX: 03-5413-8923

【申込締切】 **2016年6月17日(金) 17:00**
** 事前申し込みがない場合でも参加いただけます*



【プログラム】

13:00~13:10 ■開会挨拶

地域デザイン学会 理事長

原田 保

13:10~14:10 ■基調講演

『「ホームレス状態を生み出さない日本」を目指して』

NPO法人Homedoor 理事長

川口 加奈

14:10~14:20 休憩

14:20~15:00 ■研究発表①

『農業を通じた障がい者雇用推進と地域社会の発展』

株式会社アイエスエフネット 専務取締役

杉岡 和彦

15:00~15:10 休憩

15:10~15:50 ■研究発表②

『認知症の方々とともに暮らす社会』

中央林間病院 地域医療連携室室長、看護副部長

溝口 美由紀

15:50~16:00 休憩

16:00~16:50 ■パネルディスカッション

『ダイバーシティを捉えた地域コミュニティの
コンテクスト転換』

モデレーター

地域デザイン学会 理事

吉澤 靖博

パネリスト

杉岡 和彦、溝口 美由紀、原田 保

17:00~ ■懇親会 会場：一般社団法人ソーシャルユニバーシティ

《やまなし×くずまきコラボ企画》

～やまなし・くずまきの地が育んだ大地の恵みと
ともにワインとチーズを愉しむ～

《主催》
一般社団法人地域デザイン学会

《共催》
一般社団法人ソーシャルユニバーシティ

懇親会

《やまなし・くずまきコラボ企画》

～やまなし・くずまきの地が育んだ大地の恵みとともにワインとチーズを愉しむ～

岩手県葛巻町『北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち』



岩手県葛巻町は、四季の美しい自然と人々の笑顔が集う東北一の酪農郷。町の西、くずまき高原牧場ではホルスタインがのんびりと草をはみ、自然の恵みをたっぷりと受けた乳製品が次々と生み出されています。また、町の北東、日本最大級の白樺美林で知られる平庭高原は、特産の山ぶどうを使って現在人気上昇中の「くずまき山ぶどうワイン・ジュース」の生産拠点でもあります。一方、袖山高原と上外川高原には大型の風力発電機が立ち並び、新世紀のクリーンエネルギー開発が着実に進められています。自然を守り、自然を生かす……。このまちでは、21世紀にふさわしい「自然との共生」が、何十年も前から人々の心に根付き、進化し続けています。

山梨県『1300年のぶどうの歴史、130年のワインの歴史、そして未来・・・』



山梨県には甲州市勝沼を初めとして約80社のワイナリーが競争・協調し合っ、ワイン醸造しています。米や麦が原料であれば移動可能でどこでも醸造できます。しかし生のぶどうの場合は、その土地でタイミングよく醸造することが大事で、おのずと風土に強く影響を受けます。これをテロワールと呼び、その環境を重視するのです。そのため、その土地の食材とは自然と適合するわけで、これをマリアージュ、つまり結婚と呼ぶのです。いまや世界の固有品種として認められた甲州種の白ワインは、繊細さと軽やかさをウリに日本の食材と合わせて世界から注目されており、また山梨県東部はワインリゾートの地として観光開発の拠点となりつつあります。

<参加申込書> 6月19日 フォーラム

氏名	所属	会員 非会員	懇親会 出席 欠席
E-mail アドレス			